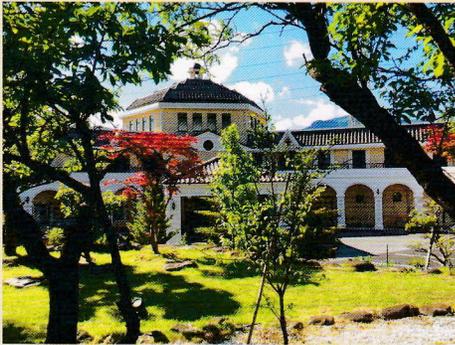


植物と触れ、育てることを通じ 脳と体の機能向上を目指す



緑に囲まれたわかばテラス

わかばテラス内の、美しい里山を想起する1000坪の庭。その中を散策し、植物を育て、収穫し、調理する。この一連の活動が、脳と体の機能向上を目指すことや、生きがい感を得ること、運動療法を苦もなく行うことにつながっている。



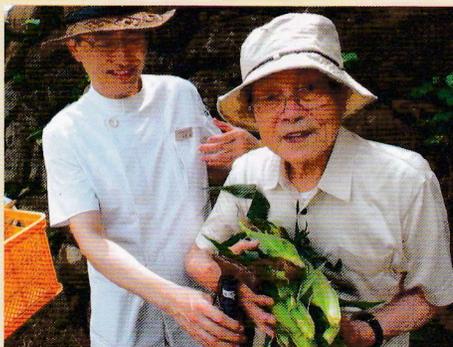
苗を育てるための種もみ時き



施設内の棚田では、皆で田植えが行われる



自ら育てた農作物を見て笑顔がこぼれる



患者以上にQOL(生活の質)まで配慮する必要がある。それらを実現する手段として、薬物療法は確かに有効ではあるが、さらに効果を延ばす役割を持つのが非薬物療法だと浜野裕理事長は言う。

「例えば、心臓病で入院した

患者さんが、心臓は治ったけれど歩けないのでは笑顔にはなりません。里山療法では、患者さんも医師も医療介護スタッフも一緒になって田んぼに入り、泥に浸かって田植えをして、稲穂が垂れてくれば収穫をする楽しみを共有し、その米で餅つきを

して正月を迎えます。そうすると1年を通して皆さんの笑顔が増えるのです。笑えば脳の血流も増えますからね」
外に出て太陽を浴びる、土に触れる。安心できる環境でそれをすれば、確かに自然な笑顔がこぼれるだろう。

ナラティブ・ベイスト・ メディスンの実践

病院から車で10分ほどのところにあるわかばテラスを訪ねてみた。施設長の浜野敦子医師は、浜野裕理事長の取り組みを二人三脚で支えている。

「私たちの医療や介護の基本はナラティブ・ベイスト・メディスン(物語に基づく医療)にあります。患者さんにはそれぞれの持つ物語があります。その方の生き方や価値観、社会的背景などを誠意ある対話を通して理解し、問題解決に向かう手助けをして、ここから新たな物語を紡いでいただくという考えです」と浜野敦子医師。

施設内には小さな棚田や畑、ブドウや柿の木などがあり、その周りを散策できる小道が巡り、車いすでも周回できる。収穫した作物を患者自身で料理するプログラムも組まれている。屋外活動や料理には怪我などのリスクもあり、家族の理解も重要だが、スタッフ全員がそのリスクにしっかり配慮しながら、明るい笑顔で仕事をしている姿が印象的だった。取材／小野敦子

医療法人わかば会 俵町浜野病院

患者一人ひとりの物語を大切に、 独自の非薬物療法である 「里山療法」で高齢者に寄りそう

土と太陽が患者の五感を
刺激する「里山療法」

俵町浜野病院の浜野裕理事長
は、新人医師としての10年間で
大阪の三次救急病院で、日本循
環器学会認定循環器専門医とし
て専ら重症な患者ばかりと関

わってきた。その後、転機が訪れ、
高齢の父の後を継いで長崎県佐
世保で地域医療に携わることに
なる。救急医療にもとりくみつ
つ、通所リハビリと院内併設の
グループホームの運営も始めた。
中でも認知症患者に対して独自
の治療法を実践している。誰も

が心の奥に持つ日本の原風
景「里山」。その風景の中で行
う園芸療法と森林療法を組み合
わせた「里山療法」だ。

最初は地球温暖化を気にかけ
ていた浜野理事長の思いで、病
院の屋上を緑化したことに端を
発する。そこに花壇だけでなく
小さな菜園を作り、通所リハビ
リに参加していた高齢者と共に
作物の収穫を行ったところ、理
事長自身も驚くほどの変化が見
られたのだ。

「リハビリでもあまり腰を曲
げようとしない患者さんが、畑
に腰を屈めて作物を収穫したり、
あまり笑わない患者さんの笑顔
が見られたりしました。認知症
の患者さんは一般的に未来をあ
まり意識しない方が多いのです
が、次は何を植えるのかとデイ
スカッションしたら、皆さん来

「リハビリでもあまり腰を曲
げようとしない患者さんが、畑
に腰を屈めて作物を収穫したり、
あまり笑わない患者さんの笑顔
が見られたりしました。認知症
の患者さんは一般的に未来をあ
まり意識しない方が多いのです
が、次は何を植えるのかとデイ
スカッションしたら、皆さん来

年はこうしたい、ああしたいと
先の話をしてくれました。この
時に、自分は患者さんと一緒に
畑仕事をしようと決心したので
す」と浜野理事長は語る。

それを実践するために2010
年、郊外に有料老人ホーム《わ
かばテラス》を開設。そこで薬
物療法と併用しながら「里山療
法」を実践して細かくデータを
集め、11年には、日本病医学会
で認知症患者と植物との関わり
について発表。17年には日本臨
床内科医学会で「認知症に対す
る里山療法の効果」について発
表し、ポスター賞を受賞している。

高齢者医療は、通常の医療と
は少し質が違い、ただ病気を治
療するだけでなく、他の年代の



有料老人ホーム
《わかばテラス》
施設長

浜野 敦子

はまの・あつこ●1979年、久留米
大学医学部卒業 関西医科大学
第三内科、俵町浜野整形外科・耳
鼻咽喉科医院、俵町浜野病院内
科勤務などを経て現職。

医療法人 わかば会
俵町浜野病院
理事長

浜野 裕

はまの・ゆたか●1979年、久留米大
学医学部卒業。2002年より現職。
日本循環器学会認定循環器専門
医、日本超音波医学会認定超音波
専門医、日本東洋医学会認定漢方
専門医、認知症サポート医など。



診療時間：月・火・木・金 9:00～13:00/
(内科) 16:00～18:00
(外科) 15:00～18:00
水・土 9:00～13:00

休 診 日：日・祝
〒857-0016 長崎県佐世保市俵町22-1
TEL.0956-22-6548
<http://wakabakai.or.jp/>

■関連施設
有料老人ホーム《わかばテラス》
〒858-0902
長崎県佐世保市踏石町198-1
TEL.0956-76-8780
FAX.0956-76-8790
<http://www.wakaba-terrace.jp/>